



一般社団法人世界貿易センター東京ほか共催
第175回 WTC合同講演会

東南アジアから見える「一帯一路構想」

--大国に靡(なび)かない「普通の国々」の生き方--

2019年1月24日

笠置 正民

(東南アジア研究家・元日経アジア社社長)

日本の東南アジア情報の問題点

1. そもそも東南アジアについての情報が決定的に少ない。
2. アメリカを中心とする、いわゆる「国際社会」の政府筋の視点からの情報が多い。
3. 日本からみて、第3国間・地域間の情報が少ない。

東南アジアの主な高速鉄道計画



表1 中国のASEAN各国向け直接投資額
 (ジェトロの「世界貿易投資報告」2018年版のデータから作成)

国・地域名	直接投資 流入額 (億US\$)	対内直接投資の主要投資国・地域 (2017年の投資額順、 一部を除き認可ベース)
ベトナム	141	日本、韓国、シンガポール、中国、台湾、米国
ラオス	8.1	中国、ベトナム、マレーシア、タイ
カンボジア	27.8	中国、シンガポール、韓国、香港
タイ	76.4	日本、シンガポール、EU、中国、インドネシア
ミャンマー	43.4	シンガポール、中国、欧州、日本、韓国
マレーシア	95.4	欧州、香港、中国、日本、シンガポール
シンガポール	620	米国、欧州、中国、日本
インドネシア	230.6	シンガポール、日本、中国、欧州、香港
フィリピン	95.3	日本、欧州、台湾、シンガポール、米国、豪州
ブルネイ	-0.5	—
ASEAN計	1,338.0	

表2 中国のASEAN各国向け直接投資残高

(2016年、単位億米ドル)	中国	日本
シンガポール	334	416
インドネシア	95	270
ラオス	55	-
ベトナム	50	145
ミャンマー	46	-
タイ	45	553
カンボジア	44	-
マレーシア	36	137
フィリピン	7	129
ブルネイ	2	-
合計	716	1,672
出所) 中国商務部、ジェトロ		
注) 日本の対ラオス、ミャンマー、カンボジア、ブルネイ向けの投資額は4か国合わせて約22億ドル		

表3 中国から東南アジアへの直接投資額推移

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
(フローベース、単位:百万米ドル)										
中国の対東南アジア直接投資 A	2,484	2,698	4,405	5,905	6,100	7,267	7,809	14,604	10,279	15年並み ?
うちシンガポール向け	1,551	1,414	1,119	3,269	1,519	2,033	2,814	10,452	3,172	6,320
インドネシア向け	174	226	201	592	1,361	1,563	1,272	1,451	1,461	1,682
ラオス向け	87	203	314	459	809	781	1,027	517	328	1,220
ベトナム向け	120	112	305	189	349	481	333	560	1,279	764
ミャンマー向け	233	377	876	218	749	475	343	332	288	—
タイ向け	45	50	700	230	479	755	839	407	1,122	1,058
カンボジア向け	205	216	467	566	560	499	438	420	626	744
マレーシア向け	34	54	164	95	199	616	521	489	1,830	1,722
フィリピン向け	34	40	244	267	75	54	225	-28	32	—
ブルネイ向け	2	6	17	20	1	9	-3	4	142	—
(参考)中国からの投資+建設契約額	1,250	900	1,800	1,250	1,500	1,800	1,490	3,150	3,000	—
ASEANの直接投資受入総額 B	36,601	31,196	92,733	108,997	117,509	126,037	124,743	125,689	120,608	133,764
うち日本の対東南アジア直接投資額	6,309	7,002	8,930	19,645	10,675	23,619	22,820	20,920	-5,340	22,011
				(注1)					(注2)	
中国の対外直接投資総額 C	53,471	43,900	68,811	74,654	87,804	101,000	123,120	127,560	196,149	124,630
中国の直接投資受入額 D	147,791	78,200	114,734	123,985	121,080	123,911	128,500	135,610	133,710	136,320
うち日本の対中直接投資	6,496	6,899	7,252	12,649	13,479	9,104	10,889	10,011	9,453	9,679
									(注3)	

出所:「中国の対東南アジア投資」とその国別内訳、および中国の対外直接投資総額は、中国商務部対外直接投資統計公報2016年版

「中国からの投資+建設契約額は、米ヘリテージ財団(日興アセットマネジメント「中国の対アセアン投資の台頭」から転載)、

それ以外の数字は国際収支ベース(ジェトロ「世界貿易投資報告書」各年版より)

注1) 2011年秋のタイの洪水被害関連の保険金支払いが一部影響しているとみられる。(ジェトロ「世界貿易投資報告 2012年版」)

注2) ソフトバンクが16年にシンガポール子会社からの2兆3,000億円の配当を決めており、直接投資回収に計上されたようだ。(ジェトロ地域分析レポート2018年2月14日)

注3) 2012年9月に日本政府が尖閣諸島を国有化、日中関係が政治外交面で悪化した影響があるとみられる。

表4 ASEAN各国の直接投資依存度と主要経済指標

国・地域名	名目GDP (百万US\$)	人口 (万人)	1人当たり GDP (US\$)	総投資 /GDP (%)	直接投資 流入額 (億US\$)	直接投資 /総投資 (%)	人口 増加率 (%)	実質経済 成長率 (%)	領土 面積 (万km ²)	自動車 生産 (万台/年)
ベトナム	223,780	9,554	2,342	24.2	241.2	53.2	1.03	6.9	32.9	24
ラオス	16,759	686	2,444	—	8.1	—	1.48	6.6	24.0	—
カンボジア	22,134	1,601	1,383	21.2	27.8	59.2	1.54	7.0	18.1	—
タイ	462,337	6,904	6,697	22.8	76.4	7.2	0.25	4.5	51.4	199
ミャンマー	67,102	5,337	1,257	21.9	43.4	29.5	0.92	6.6	68.0	—
マレーシア	314,740	3,162	9,953	25.3	95.4	12.0	1.40	5.0	33.0	51
シンガポール	324,118	571	56,783	24.8	620.0	77.1	1.53	3.1	0.1	—
インドネシア	1,015,542	26,399	3,847	32.2	230.6	7.1	1.10	5.2	189.0	122
フィリピン	313,618	10,492	2,989	25.0	95.3	12.1	1.55	6.4	22.9	—
ブルネイ	11,411	42.9	26,600	34.4	-0.5	-1.3	1.42	2.0	0.6	—
ASEAN計or単純平均	2,771,542	64,748	4,280	—	1,438.2	—	1.09	5.2	440	396
<参考>										
日本	4,596,364	12,748	36,054	24.0	104.3	0.9	-0.21	1.0	37.8	969
韓国	1,411,335	5,098	27,683	31.1	170.5	3.6	0.37	2.9	10.0	478
中国	10,434,803	140,952	7,403	42.7	1,363.2	2.8	0.43	6.6	960	2,902
インド	2,046,240	133,918	1,528	28.5	399.2	5.4	1.13	7.3	329	411
ロシア	1,872,782	14,399	13,006	21.1	252.8	7.6	0.02	-0.8	1710	170
EU<英含む28か国>	18,540,014	51,260	36,169	20.6	3,035.8	11.7	0.22	1.7	429	1,877
米国	17,348,080	32,446	53,468	20.5	2,753.8	6.9	0.77	1.6	372	1,119
ブラジル	2,349,471	20,929	11,587	15.6	627.1	19.5	0.83	-3.8	851	270

出所：「名目GDP」、「投資/GDP」は国際通貨基金(IMF)のデータベースから。数字は2017年。ベトナムの投資指標は2015年。

「人口」は、EU(EU発表の2018年1月1日の推計値)を除き、国連経済社会委員会のデータベースから。2017年年央の推計値。

「直接投資流入額」は、EUを除き、ジェトロ「世界貿易投資報告書」2018年版より。EUは eurostat のウェブサイトから。

「実質GDP成長率」は、アジア開発銀行(ASEANと韓国、中国、インド)、IMF(それ以外の国)による2018年の実績見込み。

「面積」は、日本国外務省ホームページから。

「自動車生産台数」はジェトロ「2017年 主要国の自動車生産・販売動向」に掲載された国際自動車工業会の数値。2017年。

< 参照書籍 >

- ・鈴木基義「ラオス経済の基礎知識」ジエトロ、2009
- ・Vatthana Pholsena, Ruth Banomyon, “Laos from Buffer State to Crossroads?” Mekong Press, 2006
- ・岩崎育夫「入門 東南アジア近現代史」講談社(現代新書)、2016
- ・山影進「ASEAN シンボルからシステムへ」東大出版会、1991
- ・朱炎「華人ネットワークの秘密」東洋経済新報社、1995
- ・宮本雄二「激変 ミャンマーを読み解く」東京書籍、2012
- ・小倉貞男「物語 ヴィエトナムの歴史」中央公論社、1997

< 論文・記事 >

- John Hurley, Scott Morris, and Gailyn Portelance, “Examining the Debt Implications of the Belt and Road Initiative from a Policy Perspective,” Center for Global Development (CGD Policy Paper 121), Mar. 2018
- Mitsuru Obe and Marimi Kishimoto, “Why China is determined to connect Southeast Asia by rail ---Planned 3,000-km rail network raises debt, sovereignty concerns” Nikkei Asian Review, January 09, 2019 16:20 JST
- 小野沢純「何故マレーシアで政権交代が起きたのか(4)～マハティール首相の訪中、『一帯一路』プロジェクトの一部凍結」国際貿易投資研究所ウェブサイト(フラッシュ391)、2018年9月12日
- 「ジャワ島横断鉄道に国際入札案『日本と建設』再び反故に？」日経電子版2017年7月11日23:45